

赤嶺奨さん（派遣国：アメリカ）

私は2020年1月に渡米し、カリフォルニア州立大学フレズノ校にて言語学修士課程を専攻しました。留学中は大学の友達と図書館や寮で一緒に勉強をしたり、友人と遊びに出かけたり、教授と研究アイデアについて議論したりなど、忙しながらも充実した毎日を送っていました。現地で仲良くなった友人の助けもあり、言語の壁やカルチャーショックもあまり感じることなく留学生活を楽しむことが出来ました。

周りの方々の手厚いサポートのおかげで、修士課程修了後は、オランダにあるマックス・プランク心理言語学研究所で博士課程の研究生として研究を続けることが出来ました。心理言語学の分野で世界最高峰の研究所での研究生活は、毎日刺激に満ち溢れています。例えば、著名な教授のセミナーを聴講したり、同僚と研究アイデアについて話し合ったり、研究内容をプレゼンしてフィードバックを頂いたりなど、自分の知識とスキルを高められるよう毎日精進しています。また、研究に没頭するだけではなく、様々なイベントに参加して地域の文化にふれたり、近くの国に観光に行ったりなど、ヨーロッパならではの生活を楽しんでいます。

海外の大学（院）に進学することは、その国で話されている言葉を流暢に話せるようになったり、よりよい環境下で研究ができるなど、多くのメリットがあります。しかしながら、留学は高額な費用が必要となるため、私は海外大学院進学を諦めかけていました。しかし、りゅうぎん海外留学支援事業のご支援のおかげで、留学中は経済的な不安を抱えることなく勉学に専念することができ、国際学会での発表や運営、GPA 4.0の取得、博士課程への進学など、多くの成果を残すことができました！もし海外大学・大学院留学を経済的理由により諦めかけている方がいらっしゃいましたら、ぜひりゅうぎん海外支援事業に応募し、夢を叶えて下さい！！





